



ハンドメイド

私には7歳と4歳の娘がいます。上の子を授かったのをきっかけに、昔から苦手だった裁縫を始めました。最初は、手作りのおむ



横見町
早川 恭子さん

つ入れや巾着、フェルトで作ったおままとグッツなど、娘の成長に役立つものを毎日作っていました。

それから3年後、ちよつとした裁縫が、いつの間にか本格的なハンドメイドをするようになり、独学でバッグや財布などいろいろなものを作れるようになりました。2人目も産まれ、育児に追われる忙しい毎日でしたが、ハンドメイドを楽しむようになってからは、とても充実した日々を過ごせるようになりました。

今では同じようにハンドメイドを楽しむお母さんたちと出会う機会も増えたほか、友達が開いているパン屋に作品を置かせてもらうことでたくさんの方に手にとっていただけるようになり、いろいろな経験をさせていただいています。

作品は、同じものを量産するのではなく、世界に一つだけのものを作ることを心がけています。ご希望の品を届けた時、お客さんに喜んでもらえることが私にとって

幸せであり、ハンドメイドにうち込む力の源にもなっています。

結婚をして、母親になって、夢中になれるものができました。ハンドメイドを始めるきっかけをくれた娘たちに感謝ですし、そんな私を何も言わずに見守ってくれている主人や両親にも感謝しています。

次は、那賀川町の東 佐緒 利さんをお願いします。

市民文芸

短歌

阿南市春季短歌大会選

佳作

薄紅の「太郎冠者」なる椿花名に似ずはんなり蕾開ける
森 ゆき子

佳作

この一言いつて終へばおしまいと黙しゐる時
兼任ゆき子

佳作

中卒で指物大工の道に入り嫁ぐ姉への楠箆筒贈る
程野 茂

佳作

手を振ればガラスの外のトラ猫はさらに一声ニヤーと人恋う
井上 正恵

佳作

冬の冴ゆる樹林を朝の鳥鳴きつつ飛べばこころあかるも
松本加代子

佳作

フェンスの下をつつと鳩の雛むねの柔毛を圧す朝ぐもり
久積多美子

佳作

苗代水奔る岸辺にたんぽぽの咲く一群を残し草刈る
勢井 恒子

俳句

阿南市俳句連合会選

藤崎 稔

焼酎に政局気炎あげにけり

夏菊や子の名を呼びて墓に友

田中 千香

萬緑をさらに深めし雨の寺

数藤 君子

行水の児らはしやぎたる水しぶき

佐野 峯子

ほどほどの老いの暮らしに百合盛り

笹田 知睦

潮の香をまとう茅の輪をくぐりけり

中野 郁

眠りからさめた児泣かす遠花火

宮田 春子

すぎや門潜れば見える花菖蒲

庄野 早苗

笹百合の朱の色散らす伊島かな

奥田 久女

水打って今日一日を穏やかに

岡本 隆子

川柳

阿南川柳会 高木旬笑選

並びます昔配給今グルメ

酒本 耕造

儉約が口癖だった母想う

佐野 智子

お互いに少し抜けてて馬が合う

原 公美子

どの色を足しても呼吸今ひとつ

野村 敏子

誕生日胸が躍った包装紙

持木 寿栄